

《大宮北特別支援学校さいたま西分校の活性化・特色化方針》

種別	知的障害	学部・学科	高等部	R5.5.1 児童・生徒数	(男)33名 (女)14名	計47名
アクセス	J R川越線指扇駅下車 徒歩15分 大宮駅西口④番乗り場（西武バス）～西遊馬（にしあすま）停留所下車 徒歩10分 【 埼玉県立武蔵野高等学校内 】さいたま市西区西遊馬1601番地					
<教育課程等>						
<p>○職業教育の充実（週12時間）</p> <p>学部職業（週8時間）：食品、農園芸、木工、手工芸（3年間同一作業種） 働く意義の理解、態度、責任、役割、協調性の育成</p> <p>学年職業（週3時間）：メンテナンス、介護、流通、クラフト （半期単位で全作業種を3年間で履修） 作業経験を広げ、正確さ、持続力、操作力等諸能力の向上</p> <p>教科職業（週1時間）：就労スキル（言葉遣い、身だしなみ、挨拶）やマナー、 他者とのやりとり等、職業自立に向けて、必要な知識や態度の定着</p> <p style="text-align: right;">* 地域教育力（社会人特別非常勤講師など）を活用した授業も展開しています</p>						
<学校行事・部活動>						
<p>○学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分校単独：校外学習、職場等見学（各学年） 林間学校（1年）、修学旅行（2年） ・本校と合同：運動会・文化祭 <p>○大宮武蔵野高等学校との交流・合同開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校対面式、体育祭、文化祭、マラソン大会、スポーツ大会 薬物乱用防止教室、避難訓練、芸術鑑賞会 ・さいたま西分校の授業（職業）に大宮武蔵野高等学校の生徒が参加 <p>○部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部：陸上部、男子・女子球技部 ・文化部：音楽部、美術部、家庭部 						
<家庭・地域との連携>						
<p>○学校公開を年3回実施</p> <p>○馬宮公民館文化祭への作品出展</p> <p>○地域の老人会との交流（グラウンドゴルフ）</p>						
<進路>						
<p>○進路状況（令和4年度） 就労 16名【卒業生 16名】</p> <p>○進路先（令和4年度） 小売販売（スーパー等）、清掃、栽培、印刷 事務的・庶務的な仕事を中心とした業務、など</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">卒業生を講師としてお招きしての進路講演会</div>						



林間学校（ラフティング体験）



武高生が職業の授業に参加



2 育成方針（生徒の成長物語）

県立大宮北特別支援学校 さいたま西分校 ～生徒の成長物語～

本校の 特色

本校の教育目標
教育内容の特色
地域との連携

社会の一員として、豊かな人間性を備えた生徒の育成
多様な「職業」教育を通じて「働く力」を育てます
地域交流及び地域貢献に積極的に取り組んでいます

交流及び共同学習

大宮北特別支援学校との交流

○運動会・文化祭

大宮武蔵野高校との交流

- 高校対面式・体育祭・文化祭
マラソン大会・スポーツ大会
避難訓練・薬物乱用防止教室
- さいたま西分校の『職業』の
授業に大宮武蔵野高校の生徒
が参加

育てる力

- 表現力・理解力
- 健康・体力
- 生活態度
- 生活力
- 就労意識・意欲

産業現場等における実習

○目的

- ①社会人として要求される生活習慣
- ②円滑な人間関係
- ③働くことへの意欲、理解、態度
- ④健康と安全への理解
- ⑤能力、適性の把握

第2学年

社会や集団の一員としての在り
方を学び社会性を高める

第3学年

社会人としての心構えや態度、
働く力の定着を図る

個に応じた支援・指導

- 個別の教育支援計画、個
別の指導計画を作成し一
人ひとりの生徒に合わせ
た指導を行っています
- 個別面談（年4回）を実
施し、保護者と共通理解
を図り指導しています

地域との連携

- 地元老人会との交流（グラウンドゴルフ）
- 地域清掃



目指す生徒像

- 基本的な生活習慣を身につけ、人とのコミュニケーションがとれる生徒
- 自分のことだけではなく、集団の一員として活動できる生徒
- 学習や運動に粘り強く取り組む生徒

大宮北特別支援学校さいたま西分校は、働く力を育てます